

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 19 日 (2009.2.19)

【公表番号】特表 2008-525342 (P2008-525342A)

【公表日】平成 20 年 7 月 17 日 (2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報 2008-028

【出願番号】特願 2007-547323 (P2007-547323)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 7/10

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 19/06

A 6 1 P 1/18

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 22 日 (2008.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

凝固 XII 因子および / または XII a 因子を阻害し、そして病的血栓の形成および / または安定化およびそれによる 3 次元的な管腔内血栓成長を防止するための医薬の製造における、少なくとも 1 つの抗体および / または 1 つの阻害剤の使用。

【請求項 2】

抗体が、抗 XII 因子抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

抗体が、XII因子活性化を阻害する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

阻害剤が、プロテアーゼインヒビターである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

阻害剤が、セリンプロテアーゼインヒビターである、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

プロテアーゼインヒビターが、AT IIIインヒビター、アンジオテンシン転換酵素阻害剤、C1インヒビター、アプロチニン、 α -1プロテアーゼインヒビター、アンチペイン（[(S)-1-カルボキシ-2-フェニルエチル]-カルバモイル-L-Arg-L-Val-アルギナル）、Z-Pro-Pro-アルデヒド-ジメチルアセテート、DX88、ロイペプチン、Fmoc-Ala-Pyr-CNのようなプロリルオリゴペプチダーゼ阻害剤、トウモロコシ・トリブシンインヒビター、ウシ膵臓トリブシンインヒビターの変異体、エコチン、YAP（コガネガレイ抗凝固タンパク質）、ならびにセイヨウカボチャ・トリブシンインヒビターVおよびセイヨウカボチャ・イソインヒビターから選択される、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 7】

静脈性または動脈性血栓形成に関連する症状または疾患、卒中もしくは心筋梗塞、炎症、補体活性化、フィブリン溶解、血管新生、および/または、遺伝性血管浮腫のようなXII因子誘導型キニン形成に関連する疾患、肺の細菌感染、トリパノソーマ感染、低血圧性ショック、膵炎、シャーガス病、または関節性痛風の、治療または予防における、請求項 1～6のいずれかに記載の、抗体および/または阻害剤の使用。

【請求項 8】

XII因子および/またはXIIa因子の阻害に適しており、そして病的血栓の形成および/または安定化を防止する、少なくとも1つの抗体および/または1つの阻害剤を含む、医薬製剤。

【請求項 9】

抗体が、抗XII因子抗体である、請求項 8 に記載の製剤。

【請求項 10】

抗体が、XII因子活性化を阻害する、請求項 8 に記載の製剤。

【請求項 11】

阻害剤が、プロテアーゼインヒビターである、請求項 8 に記載の製剤。

【請求項 12】

阻害剤が、セリンプロテアーゼインヒビターである、請求項 11 に記載の製剤。

【請求項 13】

プロテアーゼインヒビターが、AT IIIインヒビター、アンジオテンシン転換酵素阻害剤、C1インヒビター、アプロチニン、 α -1プロテアーゼインヒビター、アンチパイン（[(S)-1-カルボキシ-2-フェニルエチル]-カルバモイル-L-Arg-L-Val-アルギナル）、Z-Pro-Pro-アルデヒド-ジメチルアセテート、DX88、ロイペプチン、Fmoc-Ala-Pyr-CNのようなプロリルオリゴペプチダーゼ阻害剤、トウモロコシ・トリブシンインヒビター、ウシ膵臓トリブシンインヒビターの変異体、エコチン、YAP（コガネガレイ抗凝固タンパク質）、ならびにセイヨウカボチャ・トリブシンインヒビターVおよびセイヨウカボチャ・イソインヒビターから選択される、請求項 11 に記載の製剤。

【請求項 14】

少なくとも1つの抗体および/または1つの阻害剤によりXII因子および/またはXIIa因子を阻害し、そしてそれにより病的血栓の形成および/または安定化または血栓成長を防止するための医薬の製造における、抗血栓剤の標的としてのXII因子および/またはXIIa因子の使用。